

平成20年度 特別支援教育部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

<p>《研究主題》</p> <p>(1) 障害のある児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育内容と指導方法の工夫改善に努める。</p> <p>(2) すべての児童が障害のある人を正しく理解するための、交流学习や共同学習を計画的・継続的に進める。</p>

第 一 回	日時	平成20年7月2日(水) 13:45~16:30
	会場	南丹市立胡麻郷小学校
	研究の概要	<p>1 公開授業</p> <p>(1) 学年</p> <p>(2) 教科 生活単元学習</p> <p>(3) 単元名 やってみよう「1学期学習発表会」</p> <p>(4) 指導者</p> <p>2 事後研究会</p> <p>3 講演(15:20~16:20)</p> <p>(1) 演題 「特別支援に活かす作業療法」</p> <p>(2) 講師 花の木医療福祉センター 作業療法士</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 年間における特別支援教育関係研究大会・研修会の案内</p> <p>(2) 京都府特別支援教育研究大会「夏の学習会」参加について</p>
第 二 回	日時	平成20年10月8日(水) 13:45~16:30
	会場	南丹市立園部第二小学校
	研究の概要	<p>1 公開授業</p> <p>(1) 学年</p> <p>(2) 教科 生活単元学習</p> <p>(3) 単元名 チャレンジいっぱい「たんぽぽやだよ！」</p> <p>(4) 指導者</p> <p>2 事後研究会</p> <p>3 実践報告</p> <p>(1) 報告内容 「校内支援体制の充実とコーディネーターの役割」</p> <p>(2) 報告者 南丹市立殿田小学校</p> <p>4 実践交流 「各校での特別支援教育の取組」</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 第29回京都府特別支援養育研究大会の報告レポート及び参加体制について</p> <p>(2) 小教研特別支援教育部会 会計決算について</p>

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 第1回目の研究会では、特別支援学級の授業を参観した。 授業後参観者に、個々の児童に対し感想や励ましの言葉をカードに記入してもらうなど細かい配慮がなされていた。学校としての取組（セルフエスティームを高める取組）を基に、単元を設定する上で、個々の課題をしっかりとつかみ、さらに児童同士の関係が活動の中でうまくいくような取組の工夫がなされていた。学年が違ってもおだやかで落ち着いた良い雰囲気の中で学習できていた。学習発表会をめざして自分の果たさなければならない役目、目標がしっかりと指導者との間や児童間で確認されており取組を通して、児童は成功感・成就感を味わうことができていた。 講演では、特別支援に活かす作業療法のあり方を作業療法士の先生から聞く機会を得た。感覚統合から見た児童のとらえ方を知り、足りない感覚を補う具体的な支援道具を見せて頂いたり、動きの中で相手に合わせたり、相手と合わせ合ったり相手の立場に立ったり、相手の気持ちを考えたりする体験ができた。</p> <p>(2) 第2回目の研究会では、特別支援学級の授業を参観した。 授業では、低学年と高学年で協力し合い「たんぼぼや」の店開きへの準備をしていた。指導案の本時の展開には、個々の児童について細かく「個別の指導上の留意点」が記入されており、児童のもつ特性や達成すべき目標が明らかになっていた。さらに児童の活動で良かったところをとらえ、ほめる言葉かけができていた。 実践報告では、コーディネーターとして実践されてきたことの事例をもとに学年担任の先生との密な連携と学級全体の集団作りの中で個をとらえ、支援していくことの大切さを学ぶことができた。コーディネーターとして学校組織として支援する体制を機能させていき、さらに地域の特別支援学校や医療等の関係機関との連携による効果的な支援の必要性についても報告された。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 特別支援教育を推進し、障害のある児童を支援していくにあたっては、学校体制としてどのように担任を支援し、児童の集団とよりよい個の関わりをつくりだしていくかを考え指導していく必要がある。また、学級集団づくりの中に特別支援教育の視点を確実に位置付けていく。</p> <p>(2) 地域のセンター的役割である特別支援学校との連携について、各学校や研究会の部会での取組を通して、さらに密にしていく必要がある。</p> <p>(3) 学校単位での特別支援教育に係る学校体制、特別支援教育コーディネーターの機能活性化、特別支援計画の視点からの関係機関との連携を強めていく必要がある。</p>
<p>来年度への研究課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍する障害のある児童や特別支援学級児童の授業研究や実践交流の継続 ・障害者理解について保護者・地域の人々への啓発推進 ・特別支援教育コーディネーターの役割に関する実践交流 ・特別支援学校や他機関との連携 ・授業における教材・教具と指導方法の開発・交流
<p>その他の研究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府特研「夏の学習会」への参加（平成20年8月5日）宇治市文化センター 他 ・丹波養護学校公開講座への参加（平成20年8月20日）園部国際交流会館 ・第46回全特連「京都市大会」への参加（平成20年10月29日～31日） 京都府会館 他 ・第29回京都府特別支援教育研究大会への参加（平成20年12月2日） 園部国際交流会館